

## 式辞

穏やかな春の日差しが降り注ぎ、ここ西宮の地、夙川、甲山の桜も満開を迎え、目に鮮やかな季節を迎えました。本日、この佳き日に、平成三十一年度 兵庫県立西宮甲山高等学校第37回入学式を挙げていただけますことは、誠に大きな喜びであります。この希望にあふれた日に、公私ご多用の中、ご臨席賜りましたご来賓の方々や保護者の皆様方に、高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、ただ今入学を許可いたしました百九十九名の皆さん、ご入学おめでとうでございます。私ども教職員、在校生一同、心から祝福し歓迎します。しかし、この場にいることができるのは、皆さんを慈しみ、育ててこられた保護者の方をはじめ、多くの人々の力添えがあったことに対して、感謝の気持ちを忘れてはなりません。また、皆さんの中には、本校が第2志望だという人も少なくはありません。しかし、甲高が第1志望でも涙をのんだ人がいることも忘れず、その分まで本校での学校生活を大切にしたいと思っております。しっかり頑張れば、甲高でよかったと心から思えるようになるはずですよ。

さて、西宮甲山高校は、「己を究め、ふれあいのなかに、明日を拓く」という校訓をまさに基として、豊かな自然のもと地域に密着した学校であります。そのような中で、私たち教職員と在校生は、森の学校だからできることがある、小さな学校にしかできない教育がある、を合い言葉に、オンリーワンの魅力ある学校づくりを教職員・在校生一丸となって行っています。例えば、現在、本校では少人数クラス展開を実施しています。定員二百人、通常は五クラス規模の学年ではありますが、本校では六クラスに編成し直し、ホームルームや授業を行うことで、きめ細やかな指導を行っています。クラスが増えた分は、本校職員の授業や仕事が増えますが、生徒のためになるなら、労苦をいとわず頑張っていく所存であります。また、豊かな自然を生かした本校独自の設定科目や、特色ある選択科目を用意しています。さらに、オリエンテーション合宿、西宮南高校との運動部定期戦、西宮市と友好都市協定を結ぶ奄美大島への修学旅行など、さまざまな魅力的な学校行事も、皆さんを待っています。ぜひ積極的に参加し、高校生活を大いに楽しんでいただけたらと思います。

さて皆さんはそのような甲高への入学に際し、喜びと、これから始まる高校生活への少しの不安、そして将来への大いなる希望に胸を膨らませていることでしょうか。そのような高校生活のスタートにあたり、校長としていくつかのお願いをいたします。

それは、この甲高で宝探しをしてほしい、ということです。

一つ目の宝は「夢・目標」です。夢・目標があって、毎日頑張っているよという人もいますが、まだまだという人は、夢・目標という宝物を探しましょう。夢や目標を探す方法はいろいろですが、甲高で新しく出会う何かに、積極的に挑戦、チャレンジすることから見つけれられるかもしれません。学習、クラブ活動、生徒会、ボランティア、そのほか、学校外の活動も含めて、どのような、自分にできるかなど悩む前に、ぜひ挑戦、チャレンジしてみましょう。それは難しそうだ、自分には無理だろう、と、できることしかしない、ではいつまで経っても、今までの自分と同じまま、成長することがありません。もちろん、すぐにあきらめてしまっ

挑戦でもチャレンジでもありません。努力とその継続が必要なのは当然のことでしょう。できるかできないかではありません。やるかやらないかです。

二つ目の宝は「絆」です。将来皆さんが出る社会は、今まで学んだ知識や技能、経験が役に立たないといわれている社会、想定外の事態に対応する力が求められる社会です。ひとりではなく、多くの人の知恵と力を結集しなければなり超えられない社会です。必ず誰かとチームを組み、力を合わせていかなければ乗り切れないのです。ですから、皆さんには本校でたくさんの仲間との絆を作ってほしいと思っています。仲間と協力して物事を成し遂げる、切磋琢磨しながらお互いに高みへ登る、困ったときには相談したり、将来の夢を語ったりするなかで友情をはぐくむことができたなら、皆さんの人生はたいへん豊かなものになるでしょう。また、先生方との絆も大切にしてほしいと思っています。私たち教職員一同は、生徒の皆さんの夢の実現のために、努力を惜しまない所存です。先生の話をしっかり聞き、その指導に従うこと、わからないことは積極的に聞くことを通して先生方との絆を深めてほしいと思っています。学校に来れば、そんな仲間や先生が待っています。家に帰れば、家族が待っています。その人たちは皆さん自身にとって宝物でしょう？ 同じように、その人たちから見て皆さん自身は宝物なのです。だから、自分を大切にしてください。頑張った自分がいれば自分で自分を褒めてあげる、心が傷つくことがあれば、自分で自分を癒やしてあげる、そんなふうに関心と命を大切にしてください。そして、皆さんの宝物である仲間や家族を大切にしてください。傷ついているなら、気持ちをわかってあげてください。頑張っていたら褒めてあげてください。一緒に喜び、一緒に泣き、絆を大切にしていただければと思います。

夢・目標を持ち挑戦、努力することは、本校校訓 基の「己を究め」

絆をもとにチームで頑張り、自分や周りの人を大切にすることは、本校校訓 基の「ふれあいのなかに」であります。

そして明日を拓いていくために、さあ、宝探しに 出発しましょう！

さて、これまで長ききにわたって慈しみ育んでこられました保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。それは同時に、義務教育を終えられたということでもあり、感激もひとしおかと拝察いたします。ですが、まだまだ生徒はこどもであり、皆様にはこれからも保護者として、お願いしたいことがございます。私たちは本日からお子様をお預かりし、三年後には大きく成長した姿で、卒業生として送り出したいと、強く願っています。しかし、教育は学校だけで、できるものではありません。まずは、学校とご家庭ができる限り同じ教育方針で子育てを行うことが重要であると考えています。学校とご家庭で言われることが違うことほど子供たちにとって可哀そうなことはありません。どうか3年間は、本校の教育方針をご理解いただき、ご協力を賜りたいと考えております。また、口幅ったいことですが、お子様が健康で規則正しい生活を送れるようサポートしていただきますこと、これまでと同様にお子様を愛していただくこともお願い申し上げます。もし、何か心配なことがございましたら、遠慮なく担任までご連絡ください。

それでは、本日入学された生徒の皆さん全員が、この三年間に大きく成長し、社会に貢献できる人材となって羽ばたくことを祈念し、式辞といたします。